

滋賀県環境経営会議（平成 28 年 6 月 28 日開催）の概要

開催日時	平成 28 年 6 月 28 日（火）9 時 50 分～10 時 00 分
開催場所	県庁本館 3 階 特別会議室
出席者	<p>（委員）</p> <p>三日月知事・西嶋副知事・池永副知事・総合政策部長・総務部長・県民生活部長・琵琶湖環境部長・健康医療福祉部長・商工観光労働部長・農政水産部長・土木交通部長・会計管理者・企業庁長・病院事業庁長・監査委員事務局長・教育長・議会事務局長・警察本部長</p> <p>（部門管理責任者）</p> <p>琵琶湖環境部長（再掲）、琵琶湖環境部次長</p> <p>（事務局）</p> <p>温暖化対策課、環境政策課</p>
議 事	環境にやさしい県庁率先行動計画（グリーンオフィス滋賀）における部局等の平成 28 年度目標について

平成 28 年 3 月改定の「環境にやさしい県庁率先行動計画（GOS）」に基づき部門管理責任者から平成 28 年度の部局等目標宣言書について報告した。

【議題】

◆環境にやさしい県庁率先行動計画（GOS）における部局等の平成 28 年度目標について

●昨年度の実績報告

昨年度が「環境にやさしい県庁率先行動計画（GOS）」5 か年計画の最終年次であり、各所属で取組を進めてきたが、目標値を達成したのは上水道使用量のみであり、特に紙の使用量や可燃ごみは基準年度よりも増加傾向であった。

●本年度の各部局等の目標宣言報告

節電やごみの削減等、目標やそれを達成するための具体的取組を、各部局や各地方合同庁舎ごとに宣言した資料 5～13 ページ「平成 28 年度 各部局の GOS 取組等に係る目標宣言一覧」をもとに報告を行った。（表縦軸：上から県政順位順、横軸：左から GOS 取組項目である、エネルギーの主である電気使用量、公用車等燃料使用量、可燃ごみ排出量、用紙購入量）

- ・削減目標は、概ね改定計画で定めた平成 32 年度の県統一目標の年ペース相当を超えるものとなった。
- ・取組については、GOS 計画の環境行動に定めた取組や、中にはエコドライブの「緩やか発進」について「最初の 5 秒で時速 20 km が目安」といった具体的な記述など工夫のある記載もあった。
- ・各部局等の削減目標が達成された場合の全県的な削減量を試算してみると、基準年である

平成 26 年度と比較して電気使用量は 2 %、燃料使用量は 2 %、可燃ごみは 5 %、用紙購入量は 1 %程度の削減となる。

●意見等

議長：合同庁舎などは誰が責任者か。

部門管理責任者：環境事務所長が実行責任者となる。

議長：公用車等燃料使用量はどこが一番多いか。

事務局：セクション的には警察本部、それから土木事務所。

議長：可燃ごみ排出量が一番多い部局はどこか。

事務局：ごみという観点では、生活ごみ（弁当の食べかすとか）なので職員の数に応じた量と考えられる。

議長：用紙購入量が一番多い部局はどこか。

事務局：用紙購入量については、年間 4 5 %が県立学校、その次に本庁が 3 1 %である。

議長：今回はこれでいいと思うが、使用量、排出量、購入量が多い所でいろんな取組をすると効果が顕著になるので、そういうことを水平展開するようなことをやってみてはどうか。

環境管理総責任者：取組が進んでいるところほど、逆にパーセンテージのマイナス幅が難しくなるので、そのあたりもなかなか難しいところ。この目標に沿って、本年度の取組をお願いする。

議長：これまで以上にこの取組は、私も力をいれてやりたいと思っている。是非今伝えたように、使用量、排出量、購入量が多い所やいろんな取組をしている所を指定して、部分的重点的にやって成果を出したい。低炭素ではなく、脱炭素の世界に入りつつあるので、環境先進県としてふさわしい取組を県庁を率先して作っていきたい。

◆決定事項

- ・ 目標に沿って、本年度取組を進める。

以上